

新規就農者の早期経営確立と次世代を担う 農業者の経営ビジョン実現

要約

- ・ワンストップ窓口による新規就農者相談、就農支援及び就農後フォローアップを行った。
- ・認定農業者等の経営改善支援に取り組んだ。

現状(背景)と課題

- ・就農希望者の就農や就農初期の経営安定に向けた、技術面、経営面、人との繋がりなど総合的な支援が必要
- ・認定農業者等の抱える経営上の様々な課題解決に向けた支援が必要



目標

- ・認定新規就農者数 累計70名
- ・フォローアップ修了者数 累計43名
- ・認定農業者(新規)の認定支援 10名
- ・専門家派遣数 累計74件

活動内容

- ・ワンストップ窓口での相談対応 のべ74人
- ・新規就農フォローアップ のべ190人
- ・認定農業者(経営改善計画作成)支援 のべ21人
- ・就農計画作成支援 のべ109人
- ・栽培技術講習会の開催 3回
- ・専門家による経営相談対応 のべ14人

成果

- ・認定新規就農者数 累計83名
- ・認定農業者(新規)の認定支援 10名
- ・フォローアップ修了者数 累計44名
- ・専門家派遣数 累計81件

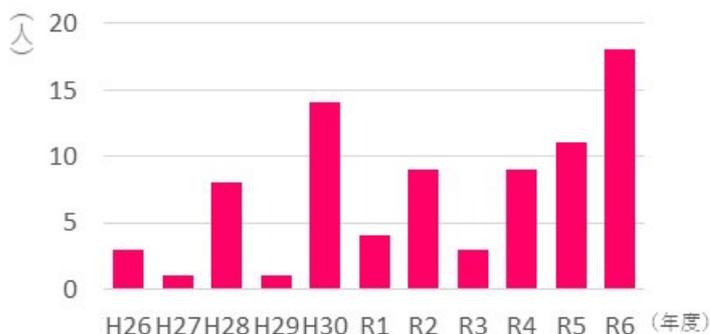


就農計画作成支援



フォローアップ研修会

認定新規就農者数の推移



北部農業振興事務所農業振興課
 担当：担い手・農地マネジメント係
 石川道夫・岩脇名実子・
 兵野吉彦・松岡柚花
 (奈良の意欲ある担い手支援事業)

普及活動のポイント

- 就農を希望する相談者に対して、早期に就農計画作成に誘導。
- 国による補助事業により、認定新規就農者を希望する相談者が増加、希望に合わせた就農支援を実施。
- 毎年、新規就農者の課題を見極めフォローアップ研修内容を検討。
- 認定農業者には相談内容により税理士・社会保険労務士・中小企業診断士などを派遣し、専門家と連携しながら経営改善支援を実施。

対象の変化

- 早期に就農計画作成に誘導することで早い段階から具体的な経営ビジョンを構築。
- 巡回等により、その時々の新規就農者に不足している知識や技術を把握し、フォローアップ研修会によりタイムリーな指導を実施。
- 専門家の派遣により、認定農業者等の自らの経営の見直しを促進。

対象者からのコメント

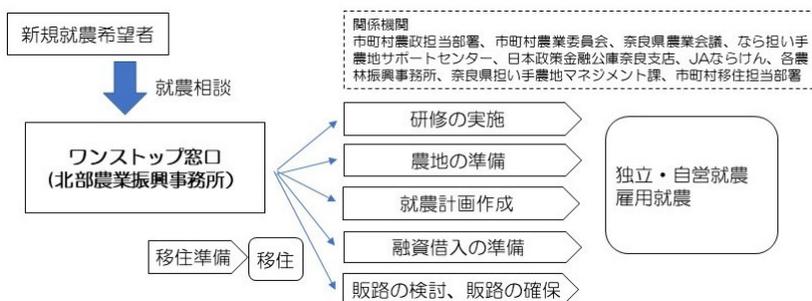
- (新規就農者) 就農に向けてこちらの事情を汲んで丁寧なアドバイスを頂けて有難かった。
- (認定農業者) 経営のどこを改善すればいいかわからなかったが、専門家の視点でアドバイスしてもらうことで、何から取り組むべきなのか整理できた。

これからの活動ビジョン

- 新規就農者の5年後目標である所得250万円を達成するために、フォローアップ研修に経営の視点も盛り込んでいく。
- 認定農業者等の経営改善に向け、経営体の抱える課題を洗い出し、重点的に支援する。

活動体制

- 農業担い手ワンストップ窓口



- 専門家相談支援体制



用語解説

- 認定新規就農者

新たに農業経営を営もうとする青年等（農業経営を開始して5年以内の者を含む）で、市町村の基本構想に示された農業経営の目標に向けて農業経営の基礎を確立しようとする青年等就農計画を市町村に認定された者。

- 認定農業者

市町村の基本構想に示された農業経営の目標に向けて、農業経営の改善を進めようとする農業経営改善計画を市町村等に認定された者。